

一九八〇年
七月二十五日
発行



第 63 卷 第 4 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 評制施行の歴史的的前提……………鎌 田 元 一 (1)
——所謂大化前代の「コホリ」について——
- 一七世紀北インドにおけるアイの生産と流通……………長 島 弘 (31)
——バヤーナ地方を中心として——
- 一三世紀ウィルトシアの世俗領荘園……………朝 治 啓 三 (65)

史料紹介

- 幸徳秋水の手紙とノート……………石 田 善 人 (97)

研究動向

- ドイツ・フマニスムス研究の視角……………永 田 諒 一 (148)

書 評

- 佐藤宗諱著『平安前期政治史序説』……………西 山 良 平 (164)

紹 介

- パンクス夫妻著，河村貞枝訳『ヴィクトリア時代の女性たち』(村岡健次)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

クスは、前者の、家族制限の傾向を生み出す史的要因に関して、先に挙げた『繁栄と親子関係』でウィクトリア時代の繁栄にもとづく中流階級の生活水準の著しい向上にその要因を見出ししており、それゆえこの点についてはその結論をそのまま踏襲して、かくして本書では、男女間の地位平等をめざすフェミニズムの運動がこの経済的な要因と無縁であったことの論証に八割方の精力が投入される次第となる。その方法は、結論的にいうならば、一八七〇年代にいたるまでのフェミニズムの運動が、その動機として家族制限ないしマルサス主義の契機を含んでいなかったことを、膨大な記述史料の整理を通じて明らかにしようとするもので、その論証過程は必ずしも完全とはいえないが、一応の成功は収めている、ということができる。

本書の出版後、一九七〇年代の、より民衆の生活に密着した社会史研究の動向は、一八七〇年代前においても、中流階級の間で、産児制限についての実際的な知識と実践意欲がかなり高かったことを明らかにし

てきている。だが、ウィクトリア時代におけるフェミニズムの定義を拡大するのならとにかく、それをバンクス夫妻がしたように、M・ウルストンクラフトからJ・S・ミルにいたる女権拡張論とウィクトリア中期からの男女間の地位の平等を確立する運動と理解するかぎり、夫妻の論証は今なお覆されたとはいえないと思う。その意味で本書は、一九世紀イギリスの家族計画史に関する基本文献たるの資格を、いまだ失ってはいないのである。

(四六判 二二三頁 一九八〇年一月
創文社歴史学叢書 一八〇〇四)
(村岡健次 和歌山大学教授)

編集後記

本号が御手元に届く頃には、祇園祭が始まり、うっとりしい梅雨もまもなく明けて……と書きたかったのですが、残念ながら遅れをとり戻すことができず、猛暑の候になりそうです。心より御詫び申しあげます。六三巻四号を御届けします。本号では日本史・東洋史・西洋史の新進・中堅から三

本の論文をいただきました。いずれも力作ばかりです。また石田善人氏からは幸徳秋水の貴重な資料の紹介を、永田諒一氏からはドイツ・フマニスムスに関する研究動向をいただきました。十分に御吟味下さい。

(S)

一九八〇年六月二五日印刷
一九八〇年七月一日発行 定価九〇〇円

史 林 (第六三巻第四号)

発行人 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

史 学 研 究 会
理事長 島 田 虔 次
振替京都五一五五番

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXIII No. 4 Jul. 1980

CONTENTS

Articles :

- The Historical Conditions of Enforcement of *Hyōsei*
評制 *M. Kamata* (1)
- Indigo Production and Circulation in North India
during the 17th Century *H. Nagashima* (31)
- The Lordship in the Wiltshire Manor of Adam de
Stratton *K. Asaji* (65)

Document :

- Letters and Notes of Syusui Kotoku *Y. Ishida* (97)

Note :

- Über den Blickwinkel der deutschen Humanismus-
forschung *R. Nagata* (148)

Book Review :

- S. Satoh, *A Political History of the Early Heian*
Period *R. Nishiyama* (164)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369